

令和5年度 定期総会資料

日時 令和5年7月11日（火）午後2時30分

場所 信州の幸あんずホール（小ホール）

（千曲市更埴文化会館）

新国道上田篠ノ井間建設促進期成同盟会

定 期 総 会 次 第

1 開会のことば

2 会長あいさつ

3 来賓祝辞

4 議長選出

5 議 事

議案第1号 令和4年度事業報告について

議案第2号 令和4年度歳入歳出決算について
(監査結果報告)

議案第3号 令和5年度事業計画(案)について

議案第4号 令和5年度歳入歳出予算(案)について

議案第5号 総会決議(案)について

(役員改選について報告)

6 閉会のことば

議案第 1 号

令和 4 年度 事業報告

新国道上田篠ノ井間全体延長 27.5 kmのうち、坂城更埴バイパス（延長 19.2 km）において、供用されている区間は千曲市八幡～千曲市稲荷山間の 3.0 kmであり、事業化されている区間は千曲市稲荷山～長野市篠ノ井塩崎間（2.6 Km）と、坂城町南条～坂城町上五明間（3.8 Km）、の 6.4 kmであり、残り約 10 kmについては事業化されていません。

この約 10 kmのうち特に千曲市若宮～八幡の区間約 4 kmについて新規事業化を要望しています。

工事の進捗状況につきまして、第 1 - 1 工区（坂城町南条～坂城町上五明間）では、平成 26 年度末から用地交渉及び用地買収等が進められ、用地取得につきましては約 86%（面積ベース）が完了いたしました。また、坂城町上五明地区では埋蔵文化財発掘調査を行い、網掛地区では軟弱地盤対策工事を行いました。

第 3 工区（千曲市稲荷山～長野市篠ノ井塩崎間）では、平成 30 年にトンネルが貫通し、千曲市側稲荷山地区においては軟弱地盤対策工事を行いました。長野市側の塩崎地区では、埋蔵文化財発掘調査（資料整理）を行い、併せて軟弱地盤対策工事を行いました。

同盟会では、国や関係機関に対し事業化区間の早期完成と事業化されていない区間の早期事業化に向けての要望活動を行い、国道 18 号の渋滞緩和や安全確保、地方道路の重要性等を訴えてまいりました。

<経過報告>

年 月 日	内 容
令和 4 年 5 月 18 日	幹事会を開催し、令和 4 年度の総会や要望活動等今後の活動方法について協議を行いました。
6 月 30 日	期成同盟会の総会を書面開催し、早期建設に向けて令和 3 年度事業報告、決算及び令和 4 年度事業計画、予算等について審議決定しました。
8 月 26 日	長野県知事及び建設部長並びに国土交通省長野国道事務所長へ建設促進の要望を行いました。（写真①・②・③）
9 月 9 日	理事会を書面にて開催し、役員改選について協議を行いました。
10 月 11 日	井出庸生衆議院議員に同席いただき、財務省宮本大臣政務官、国土交通省西田大臣政務官、和田国土交通審議官、丹羽道路局長、佐々木道路局次長へバイパス建設促進の要望を行いました。（写真④⑤⑥⑦⑧）



①【長野県要望の様子】



②【長野県 田中建設部長】



③【長野国道事務所 小澤所長】



④【財務省 宮本大臣政務官】



⑤【国土交通省 西田大臣政務官】



⑥【国土交通省 和田国土交通審議官】



⑦【国土交通省 丹羽道路局長】



⑧【国土交通省 佐々木道路局次長】

議案第2号

令和4年度 歳入歳出決算書

(歳入)

(単位：円)

科目	予算額	補正額	収入済額	比較増減	説明
1. 負担金	198,000	0	198,000	0	長野市 52,000 千曲市 67,000 坂城町 31,000 上田市 48,000
2. 繰越金	871,159	0	871,159	0	
3. 雑収入	41	0	8	△ 33	預金利子
合計	1,069,200	0	1,069,167	△ 33	

(歳出)

(単位：円)

科目	予算額	補正(流用)額	支出済額	比較増減	説明
1. 会議費	80,000	0	0	△ 80,000	総会、理事会等 会議費用
2. 事務費	110,000	0	22,400	△ 87,600	事務消耗品 郵送料
3. 事業費	871,600	0	237,416	△ 634,184	要望活動等諸費 事業啓発費
4. 予備費	7,600	0	0	△ 7,600	
合計	1,069,200	0	259,816	△ 809,384	

収入済額 1,069,167 円

支出済額 259,816 円

差引残高 809,351 円 (翌年度へ繰越)

監 査 報 告

令和4年度新国道上田篠ノ井間建設促進期成同盟会歳入歳出決算について、関係書類及び帳簿等に基づき監査したところ正確であり、その内容はいずれも適正であると認めました。

令和5年 7月 5日

監 事
山 城 町 議 会 地 域 交 通 振 興 特 別 委 員 会
役 職 副 委 員 長

山 城 一 城

監 事
役 職 令 和 4 年 度 塩 崎 匠 長 会 長

倉 石 清

新国道上田篠ノ井間建設促進期成同盟会

会 長 千 曲 市 長 小 川 修 一 様

議案第3号

令和5年度 事業計画（案）

本同盟会は沿線住民代表が期成同盟会を昭和36年4月に結成してから半世紀以上経過しましたが、依然として上田篠ノ井バイパス全線開通の要望活動を行っております。なかでも坂城更埴バイパス延長19.2kmのうち約10kmについては事業化の目処が立たない状況にあり、早期の事業化が望まれています。

本路線は、国道18号の渋滞緩和や沿線の道路環境の改善はもとより、輸送や移動時間の短縮により地域経済の活性化や地域住民の広域的な交流の促進、観光振興に大きく寄与することが見込まれ、生産性の向上が期待されます。

さらに大規模災害時は、緊急輸送路や代替路としての重要な役割を果たすことで、地域住民の安全・安心に寄与することが期待されます。

こうした現状を鑑み、新国道上田篠ノ井間の早期全線建設に向け、次の事項を積極的に推進します。

- 1 上田篠ノ井バイパスの早期完成のため、坂城更埴バイパスにおける事業化区間の早期完成と、未事業化区間の早期事業化についての建設促進運動
- 2 地元協力体制の確立
- 3 その他目的達成に必要な活動

令和5年度 歳入歳出予算書（案）

（歳入）

（単位：円）

科目	本年度予算額	前年度予算額	比較増減	説明
1. 負担金	198,000	198,000	0	長野市 52,000 千曲市 67,000 坂城町 31,000 上田市 48,000
2. 繰越金	809,351	871,159	△ 61,808	
3. 雑収入	49	41	8	預金利子
合計	1,007,400	1,069,200	△ 61,800	

（歳出）

（単位：円）

科目	本年度予算額	前年度予算額	比較増減	説明
1. 会議費	80,000	80,000	0	総会、理事会等会議費用
2. 事務費	110,000	110,000	0	事務消耗品 郵送料
3. 事業費	810,000	871,600	△ 61,600	要望活動等諸費 事業啓発費
4. 予備費	7,400	7,600	△ 200	
合計	1,007,400	1,069,200	△ 61,800	

歳入歳出それぞれ1,007,400円と定める。

※予算の流用及び総会開催時までの予算執行については会長に一任する。

令和 5 年度 負担金割合

市町名	均等割	人 口 割			負担金額
		人 口	百分率	金 額	
	円	人	%	円	円
長野市	20,000	40,781	27.20	32,000	52,000
千曲市	20,000	58,852	39.30	47,000	67,000
坂城町	20,000	14,020	9.40	11,000	31,000
上田市	20,000	36,140	24.10	28,000	48,000
計	80,000	149,793	100.00	118,000	198,000

(注)

1. 均等割、人口割は、それぞれ 4 : 6 とする。
2. 人口は令和 2 年国勢調査の人口とする。
3. 長野市は旧篠ノ井市エリアの人口とする。
4. 上田市は平成18年合併以前の旧上田市エリアの人口の 30% とする。
5. 負担金は 1,000 円単位とし、1,000 円未満は切捨てとする。

総 会 決 議 (案)

上田市、坂城町、千曲市、長野市を結ぶ国道18号は、地域沿線の基幹的な道路であり、地域住民の生活や交流、地域経済における流通などの交通手段としてその役割を担っているが、交通量の増加や右折レーンの未整備等により、市街地の各所で慢性的な交通渋滞が生じ、経済的な損失が生じている。

また、当地域の救急搬送、特に高度救急医療は現道を通行して遠方の病院へ搬送されるが、渋滞により搬送の遅延が生じている現状である。

このような状況にあつて、上田篠ノ井バイパスの建設は、交通渋滞緩和、交通安全確保はもとより、防災・減災対策、地域経済の活性化、地域住民の広域的な交流の促進、観光振興が期待され、豊かで活力ある地域づくりの観点からも極めて重要であり、地域住民長年の悲願である。

本路線の全長27.5kmのうち、現在までに事業化された区間は、更埴拡幅3.2km、上田坂城バイパス4.9km、坂城更埴バイパス千曲市八幡～長野市篠ノ井塩崎間5.6km、坂城町南条～坂城町上五明間3.8kmの合計17.5kmであり、そのうち供用されている区間は11.1kmである。

事業化区間である千曲市稲荷山～長野市篠ノ井塩崎間2.6km及び坂城町南条～坂城町上五明間3.8kmについては、より大きなストック効果を発揮し、諸問題を解決するためにも、整備を促進し、早期に完成することが望まれる。

また本路線は、大規模災害時の緊急輸送路として国土強靱化に資するためにも必要不可欠であることから、未事業化区間約10kmの早期事業化を図ることが重要である。

上田篠ノ井バイパス事業を計画的に推進するには、道路整備に必要な予算を安定的に確保することが必要である。

よつて、関係機関におかれては、下記事項について速やかに実現されるよう本總會の名において決議する。

記

- 1 上田篠ノ井バイパスの全線完成を早期に実現すること
- 2 本路線の果たす役割に鑑み、国土強靱化や救急医療、地域経済の活性化、豊かで活力ある地方創生の要素を重要視し、本路線を優先区間とすること
- 3 より大きなストック効果を発揮するため、事業化区間の早期供用開始及び、未事業化区間の早期事業化
- 4 道路整備に必要な予算の確保、地方の道路整備予算の充実
- 5 高齢者、障がい者、児童等の利用と環境に配慮した「人と自然に優しい道」の整備

新国道上田篠ノ井間建設促進期成同盟会規約

- 第1条 本会は、新国道上田篠ノ井間建設促進期成同盟会といい、事務所を千曲市役所内におく。
- 第2条 本会は、国道18号線の交通量の増大による緩和策として、上田・篠ノ井間に新国道の速やかな実現を期するを目的とする。
- 第3条 本会は前条の目的を達成するために、次の事業を行なう。
(1) 関係機関に対する陳情・請願
(2) 第2条の目的を達成するのに必要な事項
- 第4条 本会は、長野市・千曲市・坂城町・上田市をもって組織し、各関係の市町の理事者・議会議長・関係議会議員・関係区長等をもって構成する。
- 第5条 本会に次の役員をおく。
会 長 1 名
副会長 1 名
特別理事 1 名
理 事 若干名
監 事 2 名
2 本会に幹事若干名をおく。
- 第6条 会長・副会長は理事の互選とする。
2 理事は、各市町の長・議会議長並びに会長が認めた者及び事務所所在地の副市長をもってあてる。
3 会計は、本会事務所所在地の会計管理者をあてる。監事は、委員より会長が委嘱する。
4 幹事は、関係市町の土木関係職員をもってあてる。
- 第7条 会長は、会務を総理し、副会長は会長を補佐し、会長事故あるときは代理する。
2 理事は、事業執行の任にあたり、監事は会計の監査にあたる。
3 会計は、本会の経理を担当し、幹事は会務に従事する。
- 第8条 役員任期は2年とする。但し、再選は妨げない。
- 第9条 本会に顧問及び相談役をおくことができる。
2 顧問及び相談役の推薦は理事会により決定し、会長が委嘱する。
- 第10条 会議は次の3種とする。
(1) 総 会
(2) 理事会
(3) 幹事会

2 総会は毎年1回開催する。但し、会長が必要と認めるときは、臨時に開催することができる。

3 理事会及び幹事会は、必要に応じ会長が招集する。

第11条 総会は、会長が招集する。

第12条 総会、理事会及び幹事会の議長は、会長をもってこれにあてる。

第13条 総会に付議しなければならない事項は、次のとおりとする。但し、急施を要するときは、会長が専決することができる。

(1) 每事業年度の収支決算

(2) 每事業年度の経費予算

(3) 規約の変更

(4) 事業負担金の賦課及び徴収方法

(5) その他必要と認める事項

第14条 本会の経費は、関係市町の負担金及びその他の収入をもってあてる。

第15条 本会の会計年度は、毎年4月1日に始まり、翌年3月31日までとする。

附 則

この規約は、昭和57年8月3日から施行する。

附 則

この規約は、平成15年9月1日から施行する。

附 則

この規約は、平成19年5月31日から施行する。

令和5年度 新国道上田篠ノ井間建設促進期成同盟会 役職員名簿

役職名	職名	氏名
顧問	衆議院議員	篠原 孝生
〃	〃	井出 庸生
〃	〃	若林 健太
〃	〃	中川 宏昌
〃	〃	神津 健哉
〃	参議院議員	杉尾 秀哉
〃	〃	羽田 次郎
〃	長野県議会議員	高村 京子
〃	〃	和田 明子
〃	〃	荒井 武志
〃	〃	清水 純子
〃	〃	竹内 正美
〃	〃	望月 正義
〃	〃	加藤 康治
〃	〃	山田 英喜
〃	〃	林 和明
相談役	長野県 建設部参事兼道路建設課長	栗林 一彦
〃	長野県 建設部道路管理課長	下倉 正弘
〃	長野県 建設部都市・まちづくり課長	井出 圭一
〃	長野県 上田建設事務所参事兼所長	中島 俊一
〃	長野県 千曲建設事務所長	倉田 雅史
〃	長野県 長野建設事務所長	青木 謙通

役職名	職名	氏名
会長	千曲市長	小川 修一
副会長	坂城町長	山村 弘
理事	長野市長	荻原 健司
〃	上田市長	土屋 陽一
〃	長野市議会議長	寺沢 さゆり
〃	長野市議会建設企業委員会委員長	滝沢 真一
〃	長野市建設部長	横田 典久
〃	上田市議会議長	佐藤 論征
〃	上田市議会市民建設委員会委員長	原 栄一
〃	上田市都市建設部長	佐藤 安則
〃	千曲市議会議長	小玉 新市
〃	千曲市議会建設経済常任委員会委員長	中村 眞一
〃	千曲市建設部長	湯本 永一
〃	坂城町議会議長	滝沢 幸映

役職名	職名	氏名
理事	坂城町議会地域交通網対策特別委員会委員長	朝倉 国勝
監事	坂城町議会地域交通網対策特別委員会副委員長	宮入 健誠
〃	長野市篠ノ井塩崎地区区長会長（上篠ノ井区長）	齋藤 眞一
会計	千曲市会計課長	臼井 義広
委員	長野市議会議員	松田 光平
〃	〃	松井 英雄
〃	〃	黒沢 清一
〃	〃	東方 みゆき
〃	長野市篠ノ井塩崎地区区長会長（上篠ノ井区長）	(齋藤 眞一)
〃	長野市篠ノ井塩崎地区 庄ノ宮区長	小松 茂
〃	長野市篠ノ井塩崎地区 東篠ノ井区長	鶴田 明久
〃	長野市篠ノ井塩崎地区 平久保区長	樋口 一郎
〃	長野市篠ノ井塩崎地区 山崎区長	北澤 俊彦
〃	長野市篠ノ井塩崎地区 角間区長	小幡 正師
〃	長野市篠ノ井塩崎地区 上町区長	内山 輝夫
〃	長野市篠ノ井塩崎地区 四之宮区長	平野 淳二
〃	長野市篠ノ井塩崎地区 四野宮区長	廣田 節男
〃	長野市篠ノ井塩崎地区 明戸区長	仲登 志男
〃	長野市篠ノ井塩崎地区 長谷区長	宮崎 清孝
〃	長野市篠ノ井塩崎地区 越区長	宮崎 正明
〃	上田市議会副議長	西沢 逸郎
〃	上田市議会市民建設委員会副委員長	古市 順子
〃	上田市 半過自治会長	上野 義文
〃	千曲市議会副議長	金井 文彦
〃	千曲市議会建設経済常任委員会副委員長	飯島 孝
〃	千曲市議会建設経済常任委員会委員	和田 英幸
〃	〃	柳澤 眞由美
〃	〃	川嶋 敬信
〃	〃	宮下 繁明
〃	千曲市議会戸倉上山田地区議員連盟会長	(中村 眞一)
〃	千曲市議会戸倉上山田地区議員連盟副会長	滝沢 清人
〃	千曲市更埴支部 屋代地区区長会長	村山 隆行
〃	千曲市更埴支部 稻荷山地区区長会長	藤井 幹男
〃	千曲市更埴支部 八幡地区区長会長	臼井 裕之
〃	千曲市戸倉支部 更級地区区長会長	池田 精平
〃	千曲市上山田支部 自治会連合会長	寺澤 和喜
〃	千曲市上山田支部 八坂自治会長	朝日 奈睦
〃	千曲市上山田支部 新山自治会長	青木 雄一郎
〃	千曲市上山田支部 力石自治会長	北村 英隆
〃	千曲市上山田支部 温泉地区自治会連合会長	西澤 正雄

役職名	職名	氏名
委員	千曲市更級地区新国道対策委員会委員長	宮崎正光
〃	千曲市更級地区新国道対策委員会副委員長	小松正典
〃	千曲市更級地区新国道対策委員会副委員長	近藤英世
〃	千曲市更級地区新国道対策委員会副委員長	高松久男
〃	JA ながの千曲ブロック担当副組合長	岡田康
〃	坂城町議会副議長	中嶋登
〃	坂城町議会総務産業常任委員会委員長	大日向進也
〃	坂城町議会地域交通網対策特別委員会副委員長	(宮入健誠)
〃	坂城町議会地域交通網対策特別委員会員	山城峻一
〃	〃	水出康成
〃	〃	星哲夫
〃	坂城町 上五明区長	鈴木清
〃	坂城町 網掛区長	小宮山峰男
〃	坂城町 上平区長	久保穂積
〃	坂城町 小網区長	宮澤正博
〃	坂城町 月見区長	細田信
〃	坂城町 鼠区長	西澤誠
〃	坂城町 新地区長	山崎裕夫

役職名	職名	氏名
幹事	長野市建設部 次長兼監理課長	稲葉隆
〃	長野市建設部 道路課長	松本智
〃	長野市地域・市民生活部 篠ノ井支所長	中村弘樹
〃	千曲市建設部 道路河川課長	北村賢
〃	千曲市建設部 都市計画課長	山本幸男
〃	坂城町 建設課長	堀内弘達
〃	上田市都市建設部 管理課長	竹内繁弘
事務局	千曲市建設部 道路河川課 事業推進係長	桑原康史
〃	千曲市建設部 道路河川課 事業推進係	竹内貴弘
〃	千曲市建設部 道路河川課 事業推進係	大谷卓己